大正八年七月一日發行　大正八年六月二十八日印刷納本　（每月一回一日發行）　明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

女子青年界

Y.W.C.A.

基督教女子青年會

第十六巻
七月號

要目

女子青年界目次

第十六卷第七號

大正八年七月號

▼會説▲

FURS
D. KOMEYA
PROP. C. YAMAOKA,
(TANNER)

Furs, Coats, Stoles, Muffs, Brocade Linings, Slippers, Feathers, and Water-color pictures.

No. 14, Benten-dori, Itchome,
Yokohama.
Tel. 3370.

PICTURE DEPT.

No. 4, Benten-dori, Itchome,
Yokohama.

BRANCH:

Tel. Shimbashi 2179.
No. 1, Minamikinroku-cho,
Kyobashi,
Near Shimbashi, Tokyo.

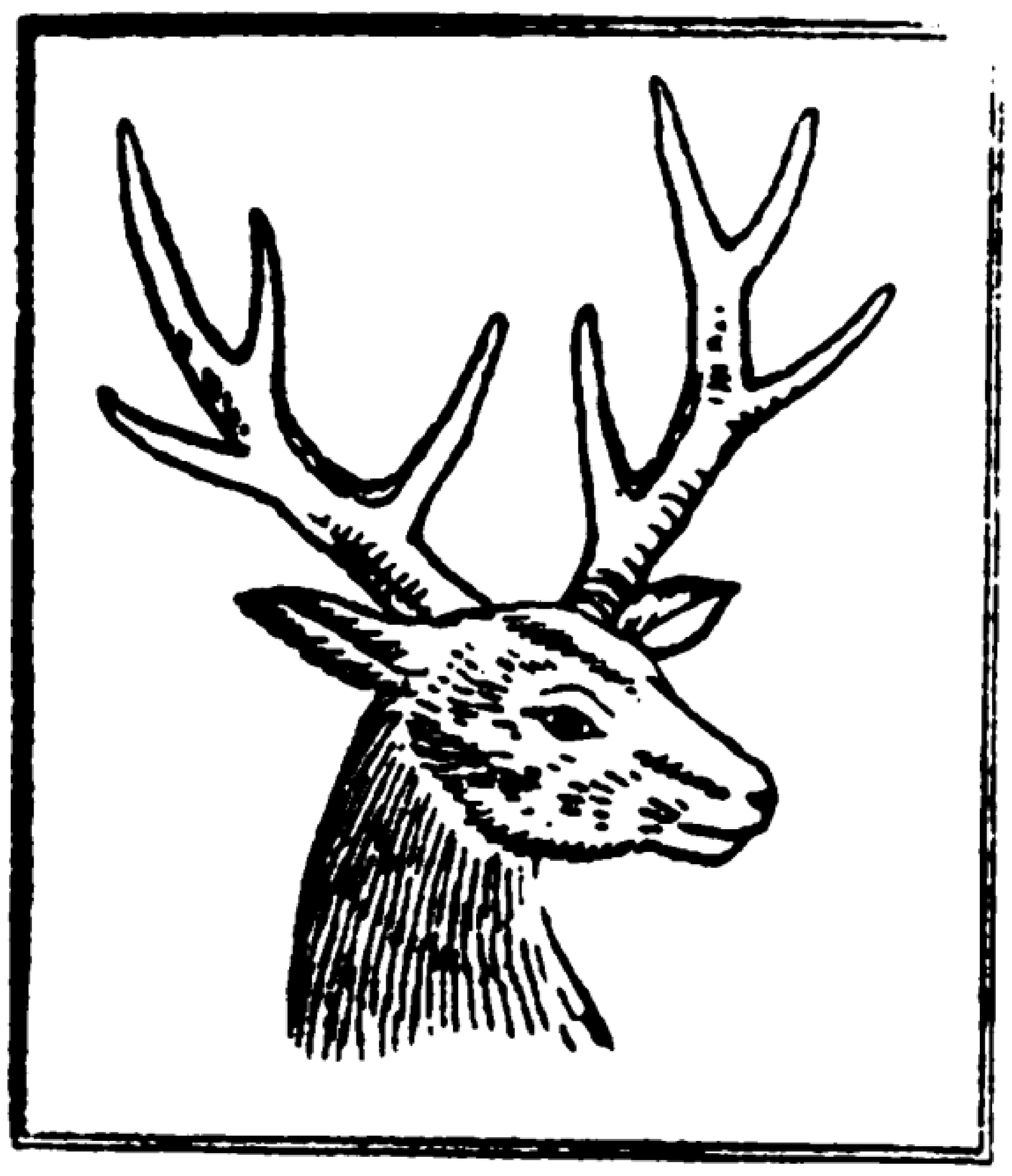
MAIN STORE-NIKKO

Summer Branch
Karuizawa

貴婦人令孃用

毛皮コート　襟巻　マフ　スリッパー　羽毛
絹裏地　水彩畫類　其他毛皮製品種々

何れも最新流行形いろ〳〵取揃へてありますから多少にかゝわらず御用命の程御願上げます、又た御贈答品としては最も好適品であります、御注文も御好みに依り入念調製いたします。



横濱市辨天通一丁目十四番地
コメヤ號　山岡商店
電話長二三七〇番

東京市京橋區南金六町一番地
コメヤ號　山岡商店
電話新橋二一七九

夏期出張所
信州輕井澤

MARUICHIYA

Manufacturer of and Dealer in
ilk goods, Paper wares and Stationeries,

Wholesale and Retail

ancy goods department:
No. 8, Benten-dori.
Stationery Department:
No. 9, Benten-dori.
Tel. 4751.

美術雜貨製造販賣

丸一屋

横濱辨天通一ノ八、九番地
電話四七五一

VERYTHING PHOTOGRAPHY

EXPERT KODAK FINISHER
S. MIKADO PHOTO CO
29, Unemecho Kyobashiku
TOKYO JAPAN.
Tel No. 2272. Shimbashi

寫眞器械材料販賣
出寫併寫眞一般應需

美門商會

東京市京橋區采女町
廿九番地歌舞伎座前
電話新橋二二七二番
振替東京一九四九四番

前付四

「診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他」
院長診察　月、木、金、午前及木午後六時
林、峯間兩副長は目下當院に在勤
東京市麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話六番町五一六番
二番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日午後　入院診後應需
「診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他」

主張

社會の改良、風紀の廓清
男女の貞潔、家庭の和樂

月刊雜誌　**廓清**　一部八錢

廓清會員へは毎號無代配送す。
廓清會規則入用の向は申越次第送附す。

東京市芝區三田四國町二

廓清會本部

電話芝五八五貳番
振替口座東京貳七〇七五番

女子青年界　第十六巻　七月號　大正八年七月一日發行

會説

夏の山水

河井道子

學生に取つては最も樂しい夏休が目前に迫つて參りました、人間は働く許りが能でない休も必要とは誰も存じて居ります。然し休或は遊ぶと云ふ事は唯半醒半睡の狀態を云ふのではなく、或は何もしないと云ふ意味でもなくして、平日の仕事や又其周圍に變化を來して異つた方面に精力を注ぐのを意味します。彼の子供等の遊ぶ樣子を見ると如何にも活動は烈しいのであります、炎天の最中に玉なす汗を厭はないで走競爭や、毬投等をして居るが、若し其活動を遊びとしないで義務の觀念でするものとしたならば一分でも堪えられますまいが、自分達の好む事である故に他から見れば苦しさうなにも樂しい遊びとなります。それで私共大人も義務的の仕事を一時止め已が好む處を自發的にする處に平素よりの變化が生じ、休日の樂しみ等があるのであります。一日の遠足、訪問、外出等が年中家にのみにあつて家事に忙殺されて居る主婦達に保養で又樂しみであるやうに、學校に關係あるものが夏休を樂しむは、學校と云ふ一種の限界を出で任意に活動するを樂しむ次第であります。

こゝに注意すべき事は任意と云ふと放恣の生活に誘はれ易く、不規則な寢食をし遊惰なる習慣を養ふ怖がある事です。之は却つて身體にも精神にも有害なる事は言を要しません、私共は休日、保養、遊ぶと云ふ言葉に古來の柔弱、遊惰なる意味を破壞して新らしい意味を鼓吹したいものと存じます。幸にして夏季中數日でも或は一月でも山水を樂しむ機會を持つならば感謝して其機會を利用し、平素味ひ得ざる神秘を味ひたいと思ひます。然し斯る機會を持つ者は少數の者に限ります、大多數は一月はおろか兩三日の旅行さへも夏季中に出來ません。しかし塵芥の都會、繁雜なる事務所にあつても、彼の英詩人が一輪の花にさへ淚含まるゝ許りの美を感じた樣に夏の都會が齎す又一種の涼景を愛でらるゝ修養をしたいと思ひます。

夏の美は確かに自然界の豐富を代表して居る、又自然界の偉大なる事より神の御業を驚歎する實地敎育の時季と思ひます。第一夏と海とはつきものゝやうに申しますが、唯水泳と云ふ事に沒頭して其以上海に就き思ひ廻す事が無ければ、良師に接し乍ら愚鈍に終る憾みがあります。詩人、畫工は彼等の見地より夏の海を眺め、漁夫、船員は彼等の立場から海を見るやうに、私共は宗教の立場から之を見ると、神御自身に接せずには居られません。

聖書は海に就いて多方面の記事を載せて居ります

「かれらは感謝のそなへものをささげ喜びうたひてその事跡をいひあらはすべし、舟にて海にうかび大洋にて事をいとなむ者は、エホバのみわざを見また淵にてその奇しき事跡を見る」。（詩篇百〇七、二二—二四）

神は海にその限界をたて、水をしてその岸を踰ざらしめ云々。（箴言八章九節）

水の海をおほへるごとくエホバをしるの知識地にみつべし。（以賽亞書十一、九後半）

惡者はなみだつ海の如し靜かなる事能はずしてその水つねに濁と泥とを出せり。（以賽亞五十七、二〇）

人々奇みて曰ひけるは此は如何なる人ぞ風も海も

之に從ひたり。(馬太傳八、二七)

我また火の雜たる玻璃の海の如ものを見たり且つ獸と其像および其名の數に勝ちたる者神の琴を執りて此玻璃の海の上に立るを見たり。(約翰默示錄十五、二)

此外澤山にありますが以上は海を見て神の力を思ひ又人間の騷擾に譬へた節々であります、讃美歌には海は絕えず引照されてあります。山の事に就いて聖書は滿ち溢れて居ります。詩篇一〇四篇は自然界が唯美しいとか、偉大とか云ふのでなく神の御手、神の御力の谷間にも、火山にも細流にも、大洋にもある事を歌ふて居ります。

義によりて山と岡とは民に平康をあたふべし。(詩篇七十二、三)

なんぢらは喜びて出きたり平穩にみちびかれゆくべし山と岡とは聲をはなちて前にうたひ野にある樹はみな手をうたん。(以賽亞書五十五、十二)

その恩滴は野の牧場をうるほし小山はみな歡びに圍る。(詩篇六十五、十二)

山の頂もまた神のものなり(詩九十五、四)、われ山にむかひて目をあぐ、わが扶助はいづこよりきたるや(詩百二十一、一)。

日本には昔から山にも川にも海にも特種の神があつたと敎へてゐますが、吾々は勿論それを意味するのではない。天地萬有の造物主なる獨りの活ける眞の神が、自然界を通じて吾等を敎へ導き、神化し美化し給ふ事を信ずるのであります。例へば夏、朝霧の上に富士の絕頂を見た時は誰しも凉しさと美さとを感ぜずには居られません。又二見の朝日を見る時は此を拜むも無理はないと思はれます。普通の者は其富士山、その朝日が神の像か或は一種の神が其內あるとして拜む處を、基督敎信者は富士にもその裾野に咲ける野花にも、朝日にも、濱邊の白砂にも神には雄大と微妙な御力を示され、其に善と美とが加合されてるを我々が感じ、其が讃美とも感謝とも祈禱ともなるのであります。

昨夏の一日夕方にある湖畔を逍遙中、綠葉翠蔓で

覆はれた凸出した懸崖に來た處が、アーと叫んだまゝに我を忘れて暫時其景色に恍惚した事があります正面には死火山の嶮嶺が、紫、紺、赤、樺、金色に彩られ、澄清の湖水又燦々黄金を浮べるに似てゐるが、須臾にして濃藍全景を染め、僅に數條の金線幕空を飾るに過ぎぬ、其靜けさ、其美しさ呼吸するさへ氣遣ふ樣でした。突然頭上に優しい聲がするので仰視ると樺木に小な巣があり其中に三羽の雛が嘴を顏一杯に擴げてゐると、親鳥が彼等を養つて居るのでありました、何たる好對の活畫でありましよう、山と水とに壯麗を着せ、穹蒼に崇美を示し給ふ神は又小鳥すらも御意にとめ、彼等を守り育てたまうのあることを今更の樣に感じて歸る事を忘れた事があります。斯る經驗は讀者中には屢ある事でせう、如何しても私共は美と云ふものを賞讃し神を讃美することの習慣と力とを養ふ必要があります。有名な進化論者ダウルヰンの告白に彼は最初詩人に成らんと志した、又畫工にならうとも思ふほど彼は美を愛したのであるが、博物學を研究する結果終に進化論に沒頭した故、彼が昔青年時代に憧憬した如き其神秘的の觀念は如何なる自然界の美に接しても起らなくなつた事を非常に殘念に思ふと申して居ります。

朝顔を先づ見ますと朝一度咲けば晝頃には落ちてしまひます、月見草を見ると此は唯人の目にも觸れない時に咲く花であります。此種の花がハワイ等に樣々あると聞きました。唯一朝或は眞夜中に咲く花にさへ、人間工に到底出來ざる程の奇しき構造と美しさとを持たせてあります、さらば之を造り給ふた神樣の心には如何程の美があるかと云ふ事を推量さられる理であります。此等よりしてキリストが野の百合の説教をされ又は燕の譬を取つて信仰を勵された事であります。夏は私共に樣々の教訓を與へますが是非宗教上に於て優美な落付いた奥深い經驗を姉妹方が都會であらうと仙境であらうと、場所を問はず十分にされて、一日なり一ヶ月なり、與へられた休暇を活用され、愈々神の御攝理を味はゝれんことを希望いたします。

日本基督教女子青年會 第十四回夏期修養會

日本基督教女子青年會は、夏期修養會を、本年七月下旬に東京に於て開きます。會場選定の爲め委員は非常に苦しみましたが、幸ひ芝公園に近く、東都にては閑靜で且つ便利な麻布の東洋英和女學校を同校職員一同の御好意により拜借する事が出來ました。十年目で東京に開かるゝ今回の修養會は、有名な先生方を諸姉に紹介する好機會と思ひます。各地の女學校代表者及び既に社會に出られた姉妹方が相集り、親しく見聞や同情を廣めらるゝ時機と信じます。今や講和會議と云ひ、世界改造と云ひ、大問題の上つて居る時に當り、一週間の修養會を開いて、信者求道者を問はず、會員非會員、學生非學生の別なく、キリストによりて世界同胞の眞意を學び、益々純然たる信仰を養ひ以て奉仕の實を擧げ度いと思ひますから、奮つて御來會あらんことを切望いたします。

●備　考

▲(一)少女之組　山田氏　(二)少女之組　淺井氏

▲聖書之組

(三)求道者之組　中路氏　(四)雅各書　西野氏　(五)キリスト傳　波多野氏

(六)エレミヤ記　森田氏　(七)研究科(豫言者の宗教と基督教)　石原氏

來會者は何の組に出席なさるか豫め御選定を願ひます。又一校より數人の代表者あれば可成各自異つた組に御出席なさる樣御注意申上げます。

少女之組は高等女學校三年程度位の來會者の爲めに設けます。

會場　東京市麻布區鳥居坂町（三河臺町下車　麻布區役所前）東洋英和女學校

時日　自七月二十二日夕（火曜日）至三十日朝（水曜日）

費用　會費　金壹圓（壹日貳拾錢　四日以上壹圓）
　　　滯在費　金七圓（一日九拾錢）

講師

東京神學院教授　今井壽道氏
東京神學社教授　石原謙氏
東京駒込教會牧師　波多野傳四郎氏
東京富士紡績會社工場長　渡邊轍氏
東京牛込教會牧師　田島進氏
東京富士見町教會牧師　植村正久氏
東京麻布教會牧師　倉長魏氏
青年會常務理事　益富政助氏

日	午前 六時—六時半 祈禱會	八時—八時十五分 朝拜	八時十五分—九時 聖書研究	九時—十時 協議會	十時半—十一時半 講演	午後 晝食後夕食迄 休憩	七時—八時半 夕拜、講演
廿二日（火）	標語　若し一の肢苦しまば諸の肢ともに苦しみ一の肢崇ばれなば諸の肢ともに喜ぶなりなんぢらはキリストの體にしてまたおのおの其肢なり　哥林多前書第十二章二六—二七節						開會禮拜　開會之辭 三谷氏　歡迎之辭 井深氏　同上 小林氏　報告 堀氏
廿三日（水）	有志者の爲	司會 三谷氏	七組	委員會 〔一〕學生部 〔二〕市部	「體用の辨」笹倉氏	歡迎親睦會	「理想」西野氏　「讀書」三谷氏
廿四日（木）		同上	同上	協議 〔一〕學生部 〔二〕市部	「基督教より觀たる我國初代佛教徒の熱誠」田島氏		「女子教育」安井氏　「府傳道の急務」渡邊氏

横濱日本基督海岸教會牧師　笹倉彌吉氏
兒童講演社主任　野邊地三右衛門氏
東京女子大學々監　安井哲子氏
女子英學塾教授　山田琴子氏
日本婦人矯風會幹事　久布白落實氏
大阪ウヰルミナ女學校教師　西野貞子氏
大阪女子神學校教師　中路ちか子氏
東京神學社出身　森田松榮氏
婦人傳道會社書記　淺井治子氏
新歸朝者　坂本花代氏
同　横澤つぎ子氏
同　大呑久子氏

廿五日(金)		同上	同上	五市部の情況 幹事五人	「人生の意義と幸福」石原氏 / 「貞操」(少女の爲) 井深氏		「健康」未定 / 「矯風會事業」久布白氏
廿六日(土)		同上	同上	外國女子青年會 ミス、スコット	「歐米婦人の活動を觀て日本婦人を思ふ」釜富氏		女子青年會デー
廿七日(日)			禮拜說教「人類共存の新意識」倉長氏				讃美禮拜「外國にての經驗談」坂本氏 横澤氏 大呑氏
廿八日(月)		同上	同上	本部と將來の計畫 委員幹事數人	「主の祈」植村氏 / 「修養」(少女の爲) 長谷川氏		「內外傳道の情況」未定 / 「日曜學校」野邊地氏
廿九日(火)		同上	同上	一般協議會	「基督者今後の修養」今井氏		「我等の覺悟」河井氏

▲携帶品　敷布上下二枚、枕布、上草履、(毛布、金盥等任意)

▲下車驛　關西よりの方は新橋。

▲申込　七月十日までに女子青年會本部に御申込み下さい。

委員長	東京女子學院學監	三谷民子
委員	東京香蘭女學校教授	長谷川喜多子
	女子青年會本部幹事	河井道子
	東京東洋英和女學校舎監	加茂令子
	日本女子大學教授	高梨高子
	女子青年會幹事	ミス、ペーヂ
	東京女子學院教師	谷岡貞子
	東京双葉高等女學校教師	大川きよ子
	東京女子青年會教師	渡邊百合子
	東京戸板裁縫女學校教師	森道子
	東京東洋英和女學校教師	今諏訪せい子
	女子青年會本部委員長	井深花子
	東京普連土女學校教授	富山時子
	東京東洋英和女學校教師	ミス、クレーグ
	女子英學塾教授	山田琴子
	東京女子青年會幹事	加藤高子
	東京普連土女學校教師	佐藤隆子
	女子青年會本部編輯係	陶山よね子
	婦人傳道會社書記	淺井治子
	東京東洋英和女學校教師	小林とみ子
	女子青年會本部事務員	堀順子

講演

基督者の生活を貫く犧牲の思想

長谷川喜多

如何なる宗教にも犧牲が表はれてゐる、ユダヤ人の宗教にも此が敎へられ又なされてゐる、エデンの園を出てから姑してアブラハムの時代を經てモーセに至つて完成してをる。基督敎もさうで、基督の降臨及其十字架は皆此犧牲を語つてゐるのである。

古代の犧牲には神の力を承認し且つ此を信ずる印として、神を喜ばせる爲に又自己の罪を怖れて神の罰を避ける處から犧牲を獻げた事が表はれて居るが基督敎の犧牲即ち基督の犧牲は、彼の降臨から其十字架に至る迄實に深遠な愛の犧牲であつて、吾々の常に感謝し學ばんと努力する處である。

ローマ書十二章一節「兄弟よ我神の諸の慈悲をもて爾曹に勸む、その身を神の意に適ふ聖き活ける祭物として神に獻げよ是當然の祭なり」我々の生活は聖い活ける祭物であらねばならぬ。常に基督に學びて善をしたい考を持つ物が即ち神に對して祭物をする事になつて來る、人に同情を持つこと、深切をすること等小い善でも皆神に對しての祭物である。聖書の中に鹽は物の味を附けると云ふ事があるが、その鹽とは基督である、又基督御自身も「汝等は地の鹽なり」と仰せになつたが、實に意味深い言葉である。娯樂でも何でもする時に其處にやはり此聖き祭物を獻げる事を忘れてはならぬ、之があれば決してこの娯樂に溺れない、鹽があるからです即ち克巳の

精神を混ぜてなせば神に喜ばれるのである。此世の美を見て感歎するのも祭物の一つである。斯く神の意に適ふ、神の喜び給ふ祭物を獻げる事の出來るのは、吾々罪人として誠に有難い感謝すべき特權である、故に凡ての事を愼んでやらねばならぬ、決して他人に賞揚されやうとか或は自己の滿足のためであるから等云ふ名譽心や、利己心からでなく神の聖き祭壇に獻げねば、聖なる祭物とはならぬ。ペテロ前書二章五節後半「潔き祭司となりイエスキリストに由りて神に悅ばるゝ靈の祭物を獻ぐべし」と云ふ此言葉の中に「イエスキリストに由りて」と「靈の祭物」との二つの意味深い言葉があるが、吾等は如何しても此靈の祭物を獻げねばならぬが特に云はねばならぬ事は、此祭物が神に受納される樣に助け給ふものは基督及聖徒の祈禱である事を忘れてはならぬ、約翰默示錄八章三節「一人の天の使金の香爐を持ち來て祭壇の側に立つ、彼多くの香を予へられたり此は寶座の前にある金の祭壇の上に之を獻げて諸の聖徒の祈禱に添しめん爲なり」と香とはイエスキリストである、吾々の祭物が此香たる基督を通じて更に聖徒の祈禱とが添ふて天に昇るのである、即ち罪に汚がれた私々の小さい祭物が基督に由つて聖化されて天父に受納されるのである。

（文責記者）

前號に於て廣岡惠三氏より青年會本部事業に對し金壹千圓を御寄附ありしが同時に大阪青年會に對し同額の御寄附ありたり、尙同會は故廣岡淺子夫人を創立委員として着手し今日の基礎をなしたるもの也。

一金壹千圓也　廣岡惠三氏寄附

故廣岡淺子夫人の記念として大阪女子青年會へ御寄附

河と海

神學博士　ジエー、ジアワエツト

余は今洋々たる大海を眺めつゝ筆を取つてゐる、強い西南風が顔を打ち巨濤が幾うねをも造つて海岸に打つかる其樣の凄然たるを眺めてゐる。海岸より程遠からざる處に幅廣き河ありて、あたりの水分多き山々より多くの支流が其に流れ込んで河一面に水を滿せ悠々として其河が海に注いで居る。海より河河より海と眼を注ぐと舊約の大豫言者の言葉を想ひ出で丶彼も丁度斯る景色を眺めて終にかの思想を吐いたのだと考へた。

「神曰く願はくばなんぢが命令にきゝしたがはんことを、もし然らばなんぢの平安は河のごとく、なんぢの義はうみの波のごとし」(以賽亞書四十八、十八)此は今の柔弱な腐敗的時代への警句であるが平和の代表を河に取つたは不思議ではないか。多くの者は平和の印に溪谷で人目を避けた處に鳥の聲さへ無き鏡の樣な小池或は沼の如きものを取つて平和は斯くの如きだと云ふが常である。或者は死を以て平和の極みの如く稱へる。彼等は死者が靜かに横はつてゐる樣を見ると聲を潜め、爪立てをし實に平和らしいなどと云ふ言葉を微かにしぼり出すのである。然るに以賽亞の思想は之と大なる差であつて、水の沈滯した沼地や、生命なき屍を以てにあらず、滔々たる大河を以て平和の姿にしたのである。世には靜かな生氣なき者に對し平安だなど丶誤つた考を抱く者があるが、平和は靜止にあらず、靜動である。平和は兩岸に水を滿々と滿たした河の如きもので靜である理は深さがある故である。平和は流動であつて軋轢の活動ではない。人の心に全き平和のある時は小波

さへ立たず泡も立たず軋轢も無くして、其人の生命が神の生命のうちに動く事である、平和は音がないと云ふよりかむしろ不調和がないと云ふ事であつて和合音調は皆平和より來るものである。

我と父とは一つなりと基督の仰せられたのは、彼の平和を表はしてゐる、即ち一人が他の一人のものゝ衷心に入り、完全なる和合の出來た時は、意志と意志と相通じ、思想と思想と相連結し、希望と希望と一致する其處に平和の根底がある、故に神と人とゝの完全な和合は平和の秘訣であり之即ち基督の平和であつて、彼の約束し給ひし「我なんぢに平和を殘す」である。

「汝の義は海の波の如し」先づ海際に立つて見よ、沖に小さき波が起ると、追々其水量と勢力とを増し大波となつて岸に押寄せて來る勇しさよ、其波の將に押寄せんとするを遮ぎらんとすれば、波は其反抗を笑ふものゝ如く玉となつて碎け力強き、勇氣ある流となつて岸に打よせ擴がるではないか。吾々の正義は斯くあるべきであるが世人の大多數を見るに、たとへ基督者と云ふものでも、此勇猛壯麗なる波の如き性格を缺いで居る。吾々の正義は細流のやうなもので旱魃の時チヨロ〳〵と不規則に流れてゐるやうな形である。其故小さな小石、小枝でも其通にあると忽ち其流は止められるか、躊躇するか又は其方向を變へられてしまふ、斯く吾等の正義なるものはいつでも少々抵抗されると、憶病にかゝり、些いなる人の毀譽褒乏で方向を變へ、彼の大波が障碍物に打つかるやうな勢が何處にもない。つまり我々の目的は迂曲的にチヨロ〳〵流れて居ると云ふ理は確固たる主義主張、信仰がないからである。若し吾々の生活が海の波にふさはしきものと爲さんには不義不正を壓倒するに足る性格を造るべきである「吾等は怖の靈にあらず權能の靈を受けしなり」とパウロの云ふたのは此處であらう。

怖の靈は僅の風に撼されて翻へる小波の如きものであるが、吾々の受けた靈は大海に於ける力強き大

波の如きものである。主イエスは自分の弟子に對していつも進取的な活氣に滿みた力ある性格を養ふべく高い理想を示し給ふた。主は弟子等がつまらぬ感情的な週圍に捉はれて力なき活氣なき働き人となる事を怖れられた、斯くあつては決して世界を御し神の國を興す等と云ふ事は望むべからざる事である、主は弟子が馥郁たる香水の如き者であるのみと望まれたのではない、むしろ强き風の如くあるやうと望まれた。今筆を取つてゐる時西南風が颯々と面を吹き鹽からき海の强い香を持きたしてゐる。「汝等は地の鹽なり」と此言葉はやはり寄せ來る波と云ふ形容と同じ强い敎訓を與へる、若し此鹽たる要素、活氣ある精神が缺けてゐるならば、キリスト信者又彼等の團體なる敎會等は鹽その味を失つたもので外に捨てられ踏まるゝも止むを得ない事である。

コリントの敎會には斯る氣拔した、味の拔けた分子があつた故に「ある者は病的又は眠むれるもの少からず」とパウロが云ふたのである。何と此等は勝利的の大海の堂々と寄來る波の態に較べて慘めなものであらう、基督者たるものゝ中にも事務とか金錢とか職業柄に對しては大波の如き勢を持て居ても、道德的、宗敎的には最早絕えんとする脈搏の如き者少くない、彼等は信仰を口にて誇示するが宗敎的生命が何もない、彼等は基督敎を人に嫌はせる、反抗させる分子である、然し吾々の正義が波の如くになつたら、その勢力は世界をして豊富な豊壤な別世界になすことが出來ると確信する。

新設寄宿舍

大阪女子青年會の附屬寄宿舍は今回大阪市西區南江堀上通四丁目十一番地に設けらる詳細は左記御問合せありたし

大阪市北區天滿橋筋一丁目九九番屋敷
大阪基督敎女子青年會

例年の通り八、九月は合併號として九月一日に發行致し候。但し一部代金貳拾錢也

社會問題根本

法學士　森戸辰雄

今度の戰爭により、歴史上あつたことがないほどに改造が試みられる。一般に新らしい社會を造らう新らしい文化を創らうとする二つの傾向あり。一は新世界を創造らんとするに際しキリスト教主義の努力、他は社會主義の努力で人間の二つの性質に應じて居る。可成無理な別方なれど、人間は性を肉と靈とにす、實際理ある別方で我々は常に魂の自由ならん事を、肉體の自由ならん如くに想ふ。即ち我々の魂は常に天の祝福ある生活を望む、それと同時に我々の肉體は世の幸福な生活を望んで居る。然るに我々には常に妨碍がある。天の祝福ある生活を妨げるものを罪と云ひ、此世の幸福ある生活を妨げるものを貧と云ふ。今「我々の日用の糧を與へ給へ」と云ふ此要求とそれを妨げる貧乏に關して考へて見度い。社會問題は皆之と關連す。我々は天使に非ず、人間なるが故に、理想時の生活を爲す能はず常に一方には物質的生活をもち可成多くの物質に依賴し、此物質生活により多くの影響を受けてる事は否定出來ぬ。

昨年暮或人が日米生活費比較の話をして、其統計によれば我々の生活には漸々活きて行ける丈の生活と、最も能率ある生活との二つあり。前者は生命をつなぐに必要なものだけを要し、後者は只生命をつなぐのみならず能率を增進するに必要なる費用を要す。故に能率ある生活をなすには五人の家族にて年二千圓を要するのに、日本を調査すると百人の中九十八丈は最下生活費をさへ得て居らない。彼等は皆貧乏人の中に入るとのことだ。此調査は全部受入れ

兼ぬるが、元氣があり常に活潑に生活して行ける狀態にある人は極小數である。「身は虛弱とも、そは生活の全部ならず、又食物惡しくとも」と云はるゝ人あらんもこは生活に大なる關係あり。壯丁の體格次第に惡しくなり甲種合格者少なき由を讀んだ。又農商務省の調査により肺結核者おほく收入少なき女工が外觀を作らん爲食を減じ其結果發達盛りに非常な不健康な狀態が多く原因すと。これ皆貧乏の持來たらせし現象である。貧は種々の方面に我々の生活に影響をなす。我々の智識の上にも影響あり。貧なれば兒童の營養ならず、敎室にありても睡氣を催し低能兒とならねばならぬ狀態にあり。又今日親の生活の豐富ならざる爲義務敎育すら受くるに六ケ敷ものあり。學校後直ちに稼業に從事す。かく學校に於て學び、家庭に於ける仕事をなすには能率不足なるが故に勞れはて、學ぶ事を得ぬため成績不良な事は貧乏兒に附隨して居る。かくしては小學校以上の學校に於ては、進級するの望み無し、世に於ける地位を得るには相當の學歷必要これまた止を得ざることでありながら、貧すれば鈍すとて世の中より馬鹿にされるのである。金さへあれば聰明ないものも相當の敎育をうけ、世に於て良い位置もつき世の賜物をも享樂する事が出來る。これは智識上より云ふので道德上より云へば貧乏人にても淸廉なものもある。然し又貧なれば道德方面も惡くなり酒を飮み、賭博を爲し、女を買ふなどの不身持となる事實もあるが誰が彼等に道を敎ふるか、又敎ふる人あるも尙その敎を聞く時があるか、勞れた身を持てる故强い刺戟を要求する。之は同情す可きものにして非難す可きものでは無い。純潔に於ても、家庭の觀念なく、敎養なき彼等が、老も若きも同棲し、何日も廉潔に添はない狀態にのみ置かれてゐるとしたらば、非難す可きでは無く、同情す可きである。然し社會は偏頗な取扱を爲し同情はして居らぬ。法律もまた偏頗にしてその樣な民の勞力を保護せず、民法の大部分は富者の財產を保護して居る。從つて法律はそれらの

人々に非常に薄い關係より持つて居らぬ。金持は何も知らずとも金を出して、辨護士に調べさす。然し貧者には金なき爲めに辯護人を頼み得ず、又自らの職を捨て裁判所に行けば、口が乾あがると云ふ有樣故法律の保護は受けられぬ樣な風になつて居る。男子にして一定の財産あるものには選擧權を與へられ他には與へられぬから法律は金持には都合よく貧者には不都合なものが定められ、國民として當然認められねばならぬ權利をも認められぬ。

斯く貧者に不利な事多し。然かも今日は新聞雜誌により、此不利な狀態にある事及び富者と貧者との區分を明瞭に知り、痛切に感ずる樣になつて來た。自分達の貧乏と富者の金とが密接な關係のある事、富者が貧者の上前をはねて、益々其財産を殖やしてる事、富者は只金あるが故に遊び暮し、貧者はこれ無が爲に働かねばならぬと云ふ富者と貧者との生活の相違の原因などを深く考へ、その不都合な事、不公平な事を痛切に感ずる樣になつた。

この今日の制度について疑を持つのは當然、然かも今日に於ては、我も彼も人なりと云ふ民本的の要求が強くなつてきた。故に持てると云ふ事で生活してる人と、働いて生活してる人との間の利害が衝突し、之が現代の社會問題を形作つてきたのが今日の根本の問題である。公平に利害を離れて考ふれば、明かに解快せらるゝものなれど利害を離れて考ふる人無し。然し其時の來るのも遠くはない、また來なければならない、來るのが正しいと思ふ。

これ深い研究を要する事であるが、二つの事が無くなれば解決さるゝと思ふ。一は經濟的に儲があると云ふことを忘れる事は我勝ちに儲けんと競爭せず、今少し力を合して、協力して行く樣に、反目せず、同情して行く樣に、物がすべて必要な手に渡つて行く樣になす事である。かくせば肉體の慾望が相當に濟され、人間らしい生活を營むに必要な物を得、生存權が保證されて來る。斯くして初めて「日用の糧を與へ給へ」と云ふ祈りが實現され、智能を啓發し、德器を成就し、精神的生活を省みて行くことの出來る狀態に置かれ、世の幸福なる生活と天の祝福ある生活とを與へられて我々の生を完ふし得ると信ずる。

海外植民學校

陶山よね子

女子青年會は海外渡航者に對して微力乍らも便宜を計つてゐるし、又將來移民事業にも貢獻したいので此には關係深い東京市外世田ケ谷村なる海外植民學校を參觀するのも無益な事でないと六月十三日同校を訪れた。澁谷から玉川電車に乘り暫くして世田ケ谷停留所に至る、それより「海外植民學校」と書せる白い大きい目標を目當に右に折れ數町行くうちに全く都離れした村景色となる、樹木は愈々青くなつた草は益々繁つて來た麥も熟して利鎌を持つてゐる。十町も歩いたかと思ふ邊からモーと牛の吼き聲が聞えると垣越しにズラりと並んだ牛乳配達車が見えた。立派な石の門（當校設立を國家的壯擧であるとて小豆島の篤志家が寄附したもの）を入ると左へ眞直ぐに上部鼠下部茶色の二階建の一棟が見えると同時に彼方の農園に作業中の十數名の青年の群が眼に映つた、早く委しき事を聞かねばとギヨロ〳〵する事を止めて受付の鈴を押すと何の僞りも飾りもない質朴な田舍丸出しの色の褪せた黑洋服に高下駄と云ふ青年が取次いで呉れたのも愉快であつた、こちらも高下駄のまゝガタンコロンと教員室に案内されて當校學監辻一馬先生から懇ろに目下の狀況を伺つた。

「海外植民と云ふ事は獨り男子のみで出來るものでない如何しても女子の助けを仰がねばならぬ、斯る場合に女子青年會のあるを知り且其働の中に移民の働のある事は實に人意を強ふする事で必ず提携して頂きたい」と如才無い言葉で初められた。現在職員二十五名生徒數は八十名それには二名の女子も加は

つてゐる此は文部省の許可なしに入學を許したとは「武藏野の一角に生れたる國民の世界的覺醒を促すべき警鐘」と自任する本校の意氣込みを語つてゐる此等八十餘名は殆んど悉く自給努力の生活を續けつゝ勉學して居る、其内五十名は植民學校勞働會員で四十名は寄宿舍にゐる、二名の女子は校長崎山氏の家事を手傳ひつゝ學校に出席してゐる等聞くうちにも崎山氏は如何なる信仰の人か、此學校は如何なる精神訓練をしてゐるか疑問で仕方なかつたが指示された校則一覽に「本校生徒たるものは何處にて如何なる場合にも禁酒禁煙を勵行せらるべし」との一條を見て欣快に堪えず突然に「先生此一條誠に氣に入りました」と言ひ切つた。これも電車通の眞中で正服正帽の學生が口に葉卷を薫らしつゝ怪しき女と語り合つたり夜おそく電車の中で酒臭い學生を見る今の世にあゝ賴もしいと思つたからである。先生「さうです職員もやりません」と愉快げに答へられた、「校長先生は基督教信者で御座いますか」と尋ねると、「勿論信者です」との答を得て云ひ知れぬ悦を感じた、學校の校則には明かに示してないが當校設立の基礎となつた勞働會は「基督教を以て其主義とす」と第三條に明記してある、此溫き愛の教の空氣の中に義相協ひ意氣相投じ志と境遇を同ふせる靑年が物質的、精神的生活上に一致團結を以て其修業鍛練をなさんとする丈あつて學校全體（職員も生徒も）一家團欒たる樣は傍觀者にも美しく羨ましく感じた。勞働會員の業務は牧畜、牛乳販賣及農園である、目下牧場には五十頭の牛を有ち、約一町の農園には黃金なせる麥畑や、靑々とした野菜畑がある。その勞働時間は一日約五時間殊に午前三時より約四時間が一組、學校放課後約四時間が又一組で働てゐる、朝夕の配乳にはあのズラリと並んだ二十臺程の配乳車を意氣天を突かん許りの靑年が勢揃ひして出立するのであらうと思ふと流石に胸が躍る。教員室の向には擊劍、柔道の小さな道場があつて數名のものゝ試合中でエ、ヤの聲が聞えてゐた、「ベースボー

ルは世界的遊戯であるからやらせたいが、勞働する生徒で時間の都合上不公平になるので今はやらせて居ない」とは辻學監の御話である、二階の教室には二三の學生が一個のオルガンを圍んで他國の國歌など一生懸命稽古してゐた、當校は他の中學校と異つて音樂科を加へてある、他日故國を去つて他鄉の空に無聊をかこつ日の徒然にもとの備であらう、ある教室など腰掛は新しいが机と來たら何百年もと云ひたい程使用し盡したものを用ひてある「お前達は無人島に來たつもりで一生懸命やつて呉れねば不可よ」と激勵する職員諸氏の御心痛も察せられて却つて其教室が何だか深い意味がある樣に覺えた、此教室で聖書の講義もあるのであらう。一通り教室を見て教員室に歸ると年十八歲と云ふ細高い一人の青年が入つて來た、彼は北海道の生れで近く南洋に當校支部を設立する下檢査に行くのだと云ふ偉い抱負を持つた者である。一體北海道の人は海外思想に富んでゐるやうに思はれる、當校の生徒中にも北海道のもの最も多く次いで土佐のものも多い、廊下には最近の體格檢查表が貼付してあり皆立派な體格であることを表はしてゐたが六十名以上の結膜症を有する事を見て驚いた、此は勞働の結果睡眠不足から來る病症だときいた。寄宿舍は全部西洋式で板の間に寢臺、卓子、椅子と云ふ具合である、農園も逍遙したいとは思つたが遠慮して玄關を出ると後の方から幾もぶら下つて居る牛乳の空びんを地上に引きづり乍ら青年がやつて來る處等一寸他所では見られない植民學校の特色であると思つた、要するに基督教主義のもとに創立時代の希望の空氣の中に師弟諸共思を海外に走らせつゝやる此學校丈に凡てが元氣に愉快にみちてゐる樣に感じた。

靜岡　高木喜美子

私は暫く靜岡にとゞまる事になりました、當分の間先生方の御話を伺ふ事も元氣のよい青年會の皆樣にも御目に掛る事も出來ないと存じまして誠に悲しく存じます、忙がしかつた事も困つた事も御座いましたが青年會に結びつけましては愉快な記憶のみ思ひ起しほんとになつかしく存じて居ります、こんな田舍に居りましては直接に働く事は出來ませんが陰ながら青年會の爲に御祈りいたして居ります。

印度洋より

志立たき子

日本の上に恵を垂れ給ふ神は此船をも守り給ふと思ふと私は家に居る心地がします神戸門司上海香港へ寄る度に船に集る人々を見ると私の心には色々な感が起ります日本の男子は男子自ら省みて改めるべきものでありますが婦人の心得違ひは私共が如何かして改めねばならぬと思ひます門司で石炭を運ぶ婦人は日本の爲め餘り名譽でもありませんが勞働者は何方の國にも有るもので其生活狀態が誠によくなる事を願ひますそれよりも何よりも困るのは例の婦人です之は何とも云ひわけの仕樣がなく只面目を失ふ許です日本の婦人でも淑女は眞面目であると云ふ事をせめて示したいと思ふと之がまた大失望し、來る者も〳〵日本の婦人と云へば情けなくて醜い程小さくて弱さうで(自分の事は棚に上げて)髪が鬘の樣で白粉が眞白で(處々はげて)いやに笑つてチョコ〳〵ブラ〳〵歩いて衣服が華で私は奇麗な着物を惡いとは申ませんけれども風の吹く日や雨の降る時に紋付裾模樣でもありますまい送迎の人が大勢甲板に居る時は裾模樣など見へはしませぬ斑な白粉の顔とくづれかゝつた庇髪とモジャ〳〵した束髪の中に金銀寶石の束髪ピンの光つて居るのが日本婦人の存在を示すのみです全く日本の婦人は世界無比です! 斯うなつたのは今始まつたのではありませぬ數百年來養成した風俗習慣の結果で個人で云へば幼時から家庭のしつけと學校の教育のせいは斷言する理由を持つて居ります原因を除かずに結果を消す事は出來ませんから子を持つ者と教育に從事するものは結果が眼についたら原因を尋ねて除き去る樣努力せねばなり

ませぬ日本婦人の缺點は服裝の惡い事身體の餘り弱い事世界的知識と自尊自重の心のない事人の批評を恐れながら人の批評をする事何事にも自信のない事男子の氣を迎へるに努め過ぎる事（之は總ての原因と云へる程大きいものですからお考へ下さい）凡そ以上の心得違を知らないでは到底眞人間にはなれまもぬよし信者になつても卽ち神を見ても色硝子を通して見ると同じ譯で眞に神の榮を表はし得る人間にはなれませぬ或日本の牧師が私に次の樣に云た事があります奇麗な衣服を着るとか白粉を塗けるとか云ふ事は一種の風になつて居るのですから華な風をして居る人でも見た處程不眞面目ではないのであの中によい信者もあります其時私は斯う答へました金滿家が比較的高價な裝をするのは極くよくはありませんが見逃してもよい。私は金額より趣味が惡いと云ふのです女性が己が天職を悟る時に卽ち神が女性に命じ給ふ所を知る時にあんな風をする筈はありませぬ此頃が如何なる性質と云ふ事を出し考へたら恥かしくて人中へ出られない筈ですのに平氣で居るとか又は誇つて居ると云ふのは餘程まちがつて居るので主の敎など本當にわかつて居はしませぬ過失を赦し罪人をも愛し給ふ神は日本の女性の眼を開き給ふ事を祈ります。

福島縣下の某女工が非道なる家族のため東京の遊廓に娼妓として賣られました、此者は女工であつた時に基督敎を聞いた事がありましたので、其後に身を沈め如何にも怖ろしくなり、救をもとめ終に女子青年會關係者の手に因つて自由廢業をする運になりました彼は着のみ着のまゝで遊廓を逃げ出し廓清會の事務所に走りつけ廢業の手續を依賴したので有ります。暑氣に向つて着替は何もなく小遣などもとより有ません、然し彼は惡魔の世界より救はれた事を感泣して以後どの樣な仕事をしても再び身を賣る如き事はせぬと誓ひました。彼女に對しての同情として左記の金品を寄與された姉妹方に彼女に代つて御禮申上げます。

一、衣類大包一個　女子英學塾青年會
一、下着材料一包　津山高女卒業生某
一、衣類大包一包　東洋英和女學校青年會
一、金貳圓也　女子學院青年會
一、金拾參圓也
一、衣類大包一個　青山女學院青年會

尚本人は徒食する事を欲せず姙娠中乍らモスリン會社に勤務する事となりました。

朝鮮旅行

田中正子（舊佐藤）

下關から十二時間船で釜山の港に着きますと白衣の鮮人が長煙管を口にして悠々と往來して居るのを見て「ア、朝鮮に來た」との感がすると同時に千五百年前の歷史を回顧せずには居られませんが、市中に電車通じ自働車走れる今日では昔のことは想像だにつきません、釜山は神戶の如く後に龍頭山を控へ海に臨める商業地で、約五百年前に開港されましたが今は歐洲大陸への門戶となつて居りますので、大陸に步み込んだやうな氣が致しました、船が横付になると堂々たる朝鮮鐵道は我々乘客を待つて居ります、（若し一週一回運轉する鮮滿直通列車に乘ると京城新義州を經、鴨綠江の架橋を渡り滿洲から西比利亞鐵道に由り、戰爭前には歐洲大陸に直行出來たそうです）此處から朝鮮の首府京城迄は多く廣漠たる原野、或は田畑で汽車の沿道停車場の近くにあるアカシヤの甘い香は大陸を思はせます、釜山から京城に至る迄約十二時間。

京城の停車場南大門驛に著きますと宛然釜山とは趣を異にし道路幅廣く大厦高樓櫛比して內地と餘り異りませんが、路傍地上に勞働者の晝寢して居るのはどうしても朝鮮だと思はれます、京城は李朝五百年の都で西南及東の一部を除く外綠濃い山に圍まれ朝鮮の山は禿山と聞いて居りましたが、明治四十四年四月三日併合後第一回の神武天皇祭日を期し全道に亘り四百六十五萬本の紀念植樹が行はれてから十年後の今日では滿山皆綠をなしました、周圍に城壁を繞らし人口は約二十六萬其內々地人約七萬人要所々々に壁作りの大門が昔を語るもの丶如く聳え

て居ります。

騷擾事件

朝鮮は人蔘と飴との國として知られて居ましたが今度の騷ぎで大分内外の新聞に紹介され、此方面に於て世界人が囑目するやうになりました、然しこの事件に就いて新聞雜誌などには只朝鮮を通過したに過ぎない旅客の耳目に觸れた極皮相なる部分が誇大され、或は誤つた記事が掲載されてあるのを殘念に思ひ且是が宗教に關係せるので特に責任を感じ、自分は出來る丈廣く又出來る丈信用ある方々の御話を承つて内地人に紹介致し度と思ひ、學校の先生や總督府の方にも御目に掛り其方面から又牧師の方外國宣教師にお目に掛り、宗教上の見地からも直接に御話を伺ひました、勿論事政事にも關係して居るので非常に複雜な問題で、私共のとやかく申される事ではございませんが今其當時の有樣と幼稚な私の考とを申上て見たいと存じます。

原　因

この事件に關しては外國宣教師と天道教徒が煽動したと云ふ聲が高く内地に傳はつて居ります、もしこれが事實とすれば由々しき事で御座いますが、或人の說に依ると不徹底な鮮人が不平を勃發する道なき爲苦衷を天道教に訴へ耶蘇教宣教師に訴ふると云ふことによる、苦衷を訴へられて見れば誰でも同情ある言葉で慰めるやうになります、慰めらると有難くなり遂に教會が不平の勃發所となり慰所所となつたので、煽動と云ふ程の事ではあるまいと云はれる方もあります。然し天道教の豫言は彼等知識なき者の間には大にあづかつて力あつたそうです。結局これは感情の衝突に歸すと一般に申されます、日鮮人相互の誤解から事あれば立んと思つて居た人々が御大葬を機とし起つたので、參加した者は二種類に分けられるので、一は外國などで進歩した教育を受けた學生等が、過去の歷史國情を考へずに一途に民族自決とか獨立とかと唱へる高尚なる考へから起つた者と、今一方には常に幾分の不平を持ち之が改良を

望んで居る者、又は是迄の封建制度が改革され物價は騰貴するので、中以上の階級の昔官吏であつた人々が生活難を感じ實際問題から、昔の虐政などは忘れ都合のよい事のみを夢みて居る割合舊式の人々が天道敎の豫言(何年何月には朝鮮は獨立すると云ふ)などを信じ附和雷同した者との二つに分けられるさうです。其處で言葉に巧みな彼等は一讀すれば起ざるを得ざると云ふ空言書を配布したので御大葬の前後に於て暴徒は蜂起したのだ相です。

當時の狀況

朝鮮の婦女子は內地のよりも一層內氣で恥かしがりかと思つて居りましたのに反し、中々活潑で今度の騷ぎなどにも女學生が大道に立つて演說をする萬歲を唱へてねり步く等盛なもので、それが爲一部の男子は煽動されたと云ふ位です、それで今でも閉校されて居る女學校があります。又天道敎の人は水漢山と云ふ山に韓國旗を飜へし、之を目當にウヰルソンが飛行機で此處に下り朝鮮を獨立させるとか、又暴徒を鎭める爲に水道のホースで水をかける人があると、天道敎を信ずる人には彈丸も水と化すなど〻云て純朴なる民を惑わしたと云ふをかしな話もあります、又萬歲を云つた者には五十錢やると云はれたので五十錢が欲しさに萬歲と云ひ、直に捕へられしたゝか打たれたので五十錢にはとても代へられぬとこぼした者もあつたとか、樣々の話を聞きました、又其間には彼我中々の慘劇も耳に致しました。

今後の方針

今後の方針に就いては其々當局者は少なからずお考になつて居りますが、私は私の小さい頭から又信者の一人としての立場から自分の考を申上で皆樣に御敎を頂き度と存じます。

言語と理解、言葉は思想の表現と申しますが、言語の通ぜざる爲に同情も好意も表はし得ざる場合が往々に御座います、當地に居らるゝ外國宣敎師の中には熱心に朝鮮語を研究されるので、割合に意志疏通される樣ですが、內地人には其が少ない樣で御座

います、鮮人が日本内地語を話し得る様になるのを待つのでなくて、内地人が進んで朝鮮語を研究して意志の疏通を計つたら相互の誤解も早く解けはしますまいか。

同情と忍耐

只今の處表面は平穏無事に見えて居りますが、實は左程樂觀出來ないさうで御座います、兎に角單純なる考を持つて居る彼等を指導の立場にある内地人は、此際是非とも反省すべきだと思ひます、感情の衝突と云ふのも比較的低級な内地人が無暗に一等國を笠に着て、鮮人を見れば一様にヨボ〳〵と呼び(ヨボとはモシ〳〵の意なれども同等以上の人には決して用ひず)如何にも見下げた態度をするので、私共の目にも氣の毒と思はれる事が御座います、日本人は外部に表はれた外科的手術を以て急速に治療する事には妙を得て居るかも知れませんが、永年の惡政に倦み疲れて居る彼等には局部の手術では全快の見込は御座いますまい、親切に同情を以て診察し忍耐を以て精神的治療を施す事が必要と存じます、如何に鮮人が恩義を知らざるにせよ愛はかけ引的のものでは有りません、基督が譬話に仰せられた彼の放蕩息子に對して注がれた父(神)の慈愛を以て彼等に接すれば何時かは醒める日も御座いませう、感情あり意志ある人間が冷酷嚴格なる憲兵政事の下には悅服出來まいと思ひます。

精神的の會合

若し朝鮮に女子青年會の如き世界的のものがあつて、堅實なる信者同志が會合でも出來たら親善を量る上に大に力あるものと信じます、京城には男子青年會は日本のも朝鮮のもありますが、其間に餘り關係ない様に承りました、殊に女子の間には何等交際機關が御座いませんのを殘念に存じます、大正六年末の統計に依ると敎會或は說敎所三、二五二 牧師及宣敎師二、四四一 内地人信徒三、四〇三 朝鮮人信徒二七〇、六九八 外國信徒四三二、朝鮮では數に於て基督信者が他の信徒より遙かに多いので御座い

ますから、是等の人々が眞の信者となつて互に提携し一個の固き團體を作り他を指導敎養する事が必要と存じます。附言(記者)

朝鮮内亂に就いて日本にある我等一般の者が其眞相を殆んど知りません、新聞雜誌は殆んど其處に論及せず、僅かに其一部分を識者より洩れ聞くに過ぎません、然るに歐米諸新聞は堂々と此等の事を報道して居ります、日本でも英字新聞は割に委しく報知して居るやうであります、我々は唯に宣敎師や天道敎の信徒等に其罪を歸するやうな記事を日本新聞に見て之を輕信する如き事あらば益々已が非を飾るやうなものであります、國民として個人として改むべき處は改め神と人の前に罪を詫び、益々御意の天になる如く地にもなるやう祈るべき時季であります。

岐阜　高島まさの

昨年は幸か不幸か五月初日より長男こと病みつゞき彼のまだ全快せぬ内に又私、兎角身體勝れず遂に大發熱のため七月二十二日當縣立病院に入院致候、病名は腎臟炎にて一時は家人ども非常に心配致し候へども漸ゝ生命には差支なき樣となり、其後は輕快に赴き申候に續いて肋膜炎と變り極めて安靜を要する事なれば子持の身にて一しほ心を煩はし候、全快なか／＼おぼつかなく候へば、十一月二日廣島縣なる姉の許に一年になる女兒を連れて保養に參り極めて自由に遊び申候處、本年二月半頃には殆ど全快に近き身となり醫師の許可を得て歸宅仕り候、一方當方に於ては主人こと十一月の末より足の小負傷がもとゝなり股部に腫物出來切開の止むを得ざる事と相成り十二月末頃迄臥床致し本年一月末頃漸く全快致しそれのみならず引き續き長男扁桃腺を病み長女感冒の爲暫く苦しみ申候由に候、然し本年三月の初めにはすつかり病人の心配は無用と相成り申候處三月十日御地新宿に嫁ぎ居りし妹五人の小兒を殘して遂に此世を去り申候、私は郷里より歸宅一ヶ月立たぬ内に風邪を侵して長女を脊負つて上京致し初七日を濟ませ次第後の整理のため子兒を連れて廣島迄出張致し重用を帶びて十日間滯在して又當地に歸り申候へども病後の再三の旅行には隨分疲れ申候、永い病中に於て身體の苦しみは申すに及ばざれども精神上慰められし事の多く即ち病氣によりて宗敎の眞味を與へられ申候、殊に妹の死去に付いて又多大の感謝を與へられ申候それは日頃祈りつゝありて死にし妹を遂に救はれて天晴神樣の御そばへ參りました、御存じの羅馬書に書かれし主を信ぜよさらば汝の家族も救はるべしと。

THE HOSPITAL PHARMACY.

GINZA. TOKYO.

TELEPHONE SHIMBASHI 2334



◎歐文和文處方調劑
◎歐米有名賣藥各種
◎舶來化粧品各種
◎醫療器械各種
◎舶來滋養品各種

東京京橋區銀座尾張町一丁目一番地

銀座藥品部

（舊聖路加藥品部）

〔電話新橋二千三百三十四番〕

弊店は正確誠實迅速を旨とし凡て責任を以て販賣致し候間何卒御用被仰付度候

ギヨン夫人傳（つゞき）

森田松榮

彼女の四邊には、暗雲益々濃く重なり來つたが、彼女は人に助力を求めず、管ら、神に賴り、その聖言に深い慰藉を得た。ヘブライ書第十二章は殊に彼女を慰め勵した。

基督教の眞理を説いた爲に、激しく非難された彼女は、基督教の道德を行つた爲に、一層の迫害を受けるやうになつた。それはかうである。彼女の烱眼はある地位高く勢力の大なる一牧師が、美しい一處女に對し不德な心を懷いてゐるのを見破つたので、專心その婦人に傳道し、その信仰を强めた。その婦人が聖主の救に入り、德に進むにつれ、牧師に對して警戒的態度をとつたのは、もとより自然のことである。然るに牧師をギヨン夫人を深く怨み、自分の地位を利用して、彼女に關して無限の流言をしたので、事實を知らない人々は、彼女を輕蔑したが、彼女は默々として、ひとりたゞ忍んでゐた。

彼女は修道院に娘と寄寓してゐたのであるが、院の手不足なのを見兼ねて巴里から伴つて來た二人の女中に院の用事をさせることを申出した。然るに、かの惡辣なる迫害者は、院の人々に命じて、彼女が一切を支辨してゐる二人の女中をして、彼女の用を一切させなくしたので、丈夫でもない彼女は拭掃除洗濯一切を自分でしなければならなかつた。其上彼の迫害者は、彼女の通信を一切檢閲し、外間との交通を斷ち其他あらゆる陰險手段を以て彼女に臨んだ猛り狂ふ迫害の嵐の中に、彼女は聖主の御手にさゝへられて、いみじい平安を味つてゐたが、遂に、ゲックスを去ることに決心した。半年餘のゲックス生

活に、彼女は心身を盡して、人々の救の爲、婦人の保護の爲に盡したのであるが、今や身に全く覺なき惡評をきせられ、その最初の外國傳道地を逐はるゝに至つたのである。否、彼女が逐はれたのではなくて、實に迫害者達は、聖主を逐ひまつたのである。然し、彼女の生活それ自身が説教であつた。彼女に危うく救はれた婦人は其後益信仰に進んだ。

彼女は一六八二年の春、二人の女中と共に、コンブ師の住んでゐるソントンに着いた。彼女の娘は健康上、少し前から此處にきてゐた。彼女の到着を知ると、コンブ師は直ちに訪ねて來たが、「自分は明日此處から六十哩も離れた地へ行くことになつてをり、そこから教務用で、ロマへ往く筈になつてをります」と云つた。見ず知らずの地に於ける唯一の知己からかうきいた時、彼女は「かういふ試煉の場にあなたが被在やつて下さるならば、誠に慰安でございますが、聖旨ならば、よし此儘一生のお別れにならうとも、私は滿足致します」と答へた。

彼女は默想に親しんだけれども、どんなにそれに浸つてゐる時でも、信仰上の教を受けに來る者があれば、直ちに立つて、熱心に傳道をした。彼女は全力を盡して、婦人達に傳道をし、儀式に泥まず、單純な信仰に由つて生きること、信仰に由る生活が、最も神の榮光を顯彰し、靈魂の益となることを力説し、見る所や聞く所、智的才能、激越な情感や衝動などに頼るべからざること、其らのものは、我らを神以外のものに頼らせ、主我の生活を營ませるものであると説いた。彼女は頭の宗教でなく、心の宗教を尊んだ。

監督はソントンに用務で來た序に、彼女に會ひ、ゲックスの修道院長となることを再び勸めたが、彼女が拒つたので、次に寄附を頼んだ。彼女は快諾して、毎年一定の金額を同修道院に寄附することゝなつた。監督は彼女との面談に由つて、意志も疏通したのであつたが、任地へ歸ると、又もや小人に謬まられて、監督の主權を以て、修道院長たるべきこと

を、彼女に强要して來たが、彼女はその命は聖旨によることを認め得ないからと云つて、聖靈の導くまゝに、斷乎として拒絶した。當時の監督の教權は素振らしいものであつたから、上官の命を、敢然良心に從つて拒否した彼女は、自己の當時の教會内に於ける立場を悟り、教會をば熱烈に愛するけれど、かの監督の如な輩とは、到底同一歩調の取れないことを知つた。

公に說教したこともなく、いつも靜かな隱れた生活であつたが、彼女の高く深い信仰生活を、人々は知らないではゐなかつた。群がつて來る人々を彼女は三組に分けて、靜かに熱心に自宅で傳道した。(1)未だ信仰生活を知らず、勤行善業即ちおのれの績によつて、救はれんと勤めをる人々の組。彼女は救は績によらず、信仰を通し、主基督の贖の血のみによることを切言した。(2)は(1)よりやゝ進歩せる人々の組。(3)は更に進みて、全然聖主の屬とならんことを願つて人々の組。

彼女は聖潔獻身を高調し、來る者には親しく接し遠い者には通信に由つて傳道した。その結果はめざましかつた。少女にして深い信仰に進むものも多く彼らは手仕事の間にも、讀人を定めて、信仰の讀物を聽き、信者間の祈禱と相互扶助の精神は盛んにして熱く、恰も初代の基督者の樣であつた。商人の中にも、篤信者は增し、土地の重立つた人々は皆彼女を知るに至つた。

神がかくも彼女を恩寵の器として、多くの人々の信仰と日常の生活とを、高め潔め給ひつゝあつた時一方迫害者等は其陰險な手段を尙も逞くして、求道者の風を裝つて、彼女の家に至り、批難物議の種を獵らうと謀んだが、彼女は鋭くも彼らの陋劣な動機を見破り、一語も答へないで、彼らに策の施しやうをなからしめた。

彼女に導かれた多くの中に、一人の洗濯女があつた。中風で癇癪持の夫と五人の子とを、女の手一つの勞働から、養ひながら、ギヨン夫人に導かれてか

らは、聖靈の發達も著しく、信仰の書を以て慰安の爲に彼女を訪問する男子らも、却て彼女の深い靈的經驗に敎へられる程であつたが、彼女が聖書を研究し、自由の祈禱をすることは、女性には相應しくない、勿論、彼女は家庭で靜かに之をしてゐたのであつた）止めなければ敎會から破門すると敎會の重立つた人々から云はれた。彼女は「わが汝らに告ぐるは、凡ての人に告ぐるなり」（マコ傳十三章）といふ聖主の御言に飽まで從つたので、遂に破門されて了つた。彼らは尙も信仰の集會を解散し、信仰の書籍を燒き、自分達の如く形式的ならざる一切を除かうとした。

〰〰〰〰〰〰〰〰

湖南省　內山

東京を距る二千哩上海より、揚子江を距る千哩の山奥に突然たる基督敎國あり、人口二十萬と言へば驚かるゝならん、然れども上は將軍より下一兵卒に至る迄禁酒禁煙と禁賭を守り規律整然として一糸亂れず、市中にさへ廢娼廢妓禁賭を斷行して犯さしめず、凡ての儀式之れ讚美歌と祈禱に因る豈に驚かざるべけんや、而も內外人の別なく一視同仁を以て標榜せるに至つては吾人背汗を覺え申候人事ながら快心に不堪敢て駄信を呈し候。

通信欄

本部通信

○五月二十四日中央委員會を開く、出席者は十名の委員と、幹事四名、客員參名なりき、新にヴヲリス夫人女子學院敎師ロントン氏の二名を委員に選擧す幹事の異動に付き協議する事おほく、又秋に渡來する新任幹事等の方針を定む。

幹事の顧問員として井深花子、今西糸子、フェルプス夫人を擧ぐ、財團法人理事として長尾浪子、松岡鎭枝兩夫人を擧ぐ、當日は各方面の議事多かりしも二時間半にて相濟みミスアダムスより一講の奬勵ありて後一同中食を共にして午後一時半散會。

○ミス、マシウ。日本女子靑年會本部幹事なる同氏は十年一日の如く日本婦女子の爲奉仕されしも今回シベリヤ中央部に於ける赤十字社事業多端にしていつ同地を辭し得るや量るべからざる事よりして止得

ず一時女子青年會を辭任されたり。同氏の如き獻身的功勞者を失ふ如きは堪え難き事なれども事情止得ず中央委員は之を承認せり。同氏の後任は未定。又同氏はシベリヤにありてオムスク地方の赤十字社事務長に榮轉されたり。

○ミス、ガンター。本部事務長なる同氏は契約三年滿期にて七月十六日日本丸にて御歸米となれり。同氏の三年間に於ける内外の助力と殊に人目に立たゞる事務室にありて孜々として其職分を盡されしその功勞や又大なり。同氏の後任は多分秋頃に渡來あるべし。

○ミス、フヲンダ。本會體育部主任として赴任せし同氏は昨年九月西比利亞の赤十字事業援助に參加せしが彼處の働きに必要なる人物にて、日本に歸る見込すらなきを以て同氏も辭職されたり。

○夏期修養會委員會は六月三日に開かれ最後の相談を終へ、次後講師其他に變更ある場合は是を幹事に一任する事に決して散會す。

東京基督教青年會

六月七日の午後東京支部主催の音樂會が美土代町の會館で開かれました。其日は誠によすぎる位の御天氣で宛然眞夏の暑さが味はされました。丁度二つの音樂會が偶然ぶつかりましたのでどうかと内々危ぶんで居りましたが定刻の一時半を稍過ぎて愈々音樂會の幕が開かれやうとした時は滿場人で一つぱいで御座いました。先づマンドリン倶樂部方々の前奏曲に始まり、ミス、オルチンの輕妙な高音獨唱、タム氏の音量たつぷりなバリトン獨唱等、續いて心地よく聞かれました。田中氏のマンドリン獨奏、ヘーブン孃のピアノも美しく、最後にマンドリンの方々の「ボカッチヨ」が懷しい響きを殘して無事に終りを告げました。當日の參會者は約九百名でした。色々音樂會の爲めに御盡力下さいました會員諸姉其他同情者の方々に厚く御禮申上げます。

音樂會決算報告

收入の部

内譯

切符賣高	
寄附	
合計	七九七、〇〇〇

支出の部

内譯

郵税	一八、六四〇
印刷代	二一、〇〇〇
小使手當	三、〇〇〇
接待費	一八、七二〇
諸禮	七一、六〇〇
雜費	二、七五〇
會場料	四〇、〇〇〇
合計	一七五、七一〇
差引殘金	六二一、二九〇

六月二十二日午後三時より讃美禮拜執行。風雨の爲め參會者三十餘名。堀越勝子姉の約翰傳十二章始めの十一節の所を引照せられ、かのマリヤの愛に溢れし行爲とユダの惡拉なる態度に就き所感を述べられたり。續いて渡邊姉には夏期修養會の如何なるものなるかを簡單に語られ、仁科姉昨夏出席されての所感を述べられ、修養會の歌を一同唱ひて散會せり。

學生部及教育部

各組は七月十四日までとし、十五日には、各組會員及一般學生の親睦會をなし、餘興として英語の組の生徒のダイアログ及英語唱歌等ある筈でございます。其日多勢の方の御出でを歡迎致します。

六月、七月中の土曜日には、英語の組の生徒の中同じ學校より數名來られる方々を、學校別に御招ぎして親睦會を致してをります。因に一校より五名以上生徒の來てをる學校は、次の通です。（卒業生も含む）

お茶の水女學校及女子高等師範及專攻科　十八名

三輪田女學校　十三名

第一高等女學校　七名

第三高等女學校　七名
女子商業學校　五名
東洋家政女學校　五名

六月十二日午後六時半より英語社交會を催し、ニューヨーク女子青年會より日本に視察に來られし、ミス、スコットの「米國に於ける女子青年會の新活動」につき興味深きお話がありました。五十餘年の歴史を有する米國女子青年會の有益な大規模な今日を聞き、他日我國に同じ奉仕、大活動をなす時の必や來ると云ふ確信を强められ一層の元氣を與られました。かくなるべく多くの會員諸姉の御祈禱と御盡力とを願ひます。

十六日六時より信徒教師會を開きました。女子教育といふ重き責任を持ち、毎月一回互に勵まし合ふ爲此會の集ふ數名は、共に簡單なる夕食をなし、ひきつゞき集會となり、ミス、マクドナルドの有益なるお話がありました。小人數の此會故集會も至つて親しきものでございました。お話も先生の御經驗及御感想で、主に日本の賤業婦の大活動、驚くべき技倆、それにひきかへて、微々たる信者婦人の仕事の事及敎育者と社會狀態及法律研究の必要につき誠に力ある敎を頂きました。

市部報告

五月二十八日

日曜學校教師會を午後四時半より會館內で開きました。此の日女子學院の谷岡貞子先生にお願して幼稚科生徒に關して種々な事項をおきかせして頂きました。「幼兒には自然に宗敎的觀念があるのですから、其念を神へ向けてやらなければなりません。」とお話をお結びになりますまでには、途中で突然に先生の手を握り坂を降りた兒の信念につき、(但し未知の兒でしたが坂の途中に犬が居たので自分よりも大きい誰かにすがり度いと願つた心)赤子の妹を天國へ送つた、或る日曜學校の兒が其枕元に座し「母様みいちやんは何處?」と幾度も聞くのに對し母親は「みいちやん、此處に寢してゐるぢやありませんか」

「イヽエみいちやんを、もとめて止みませんでした由。小いながらも、骸として横はる妹を妹として滿足せず命ある我妹を求め、天の國へ一歩前に行つて皆を待つてゐますと答へを與へた其時に「ア、さう」と今更の如くに妹の顔を、のぞき見ました、此の兒の目に見えぬ靈に對しての觀念。其他種々な實例により兒童を神に導く事の大切な事柄である事を承り六時近く散會いたしました。

二十九日

午後一時半から家庭會を開きました。法學士森戸辰雄氏に御講演をお依賴しました。「社會問題と社會改造」時節柄眞面目に研究的に皆樣お聞き下さいました。（御講演は本記事參照）「天使ならぬ限りは物質をなみする事は出來ぬ、豚ならぬ限りは物質にのみは生きられぬ」とカントの言をお引きになつてお話をお始めになりましたがお話が進んで「富者の我儘にして貧者のしいたげらるゝ狀態を見ては實にこれ社會改造の要を思はずには居られない」の邊になりましては語る先生も聞く者も思に熱する眼がキラキラと輝く如うでした。「さる工塲の寄宿舍にて七百の寄宿女工中一組の夜具を給與されて居るもの僅かに四つにすぎぬ、紡績工女のみにても十何萬となるが一方には重い負擔に苦しみ他方にては輕い報酬に生活の不安を悲しまねばならない。考へる者はデイモクラセーも事實叫ばざるを得ませんよ」實に有益に伺ひました。質問時には極く少數の方々ではありましたが種々熱心に質問がありました四時頃散會しました。

六月十三日

鐵道院萬世橋分室に調査課の方々を訪問しました。ミス、スカツト。ミス、カフマン。加藤幹事と私とでした。細野課長が折惡しく御不在でしたが森谷、伊藤の兩書記殿の御丁寧なおもてなしを受け四時半から統計部室でミス、スカツトのお話をさせて頂きました。「米國の夏期休養所について」加藤幹

事の通譯で約三十五分位のお話でした。來會者凡九十名。

六月十九日

家庭會一時半から。常のとは違い今日は皆樣各自に茶飲茶碗をおもちになり、カフマン幹事の夏の飲料として、大きな丼に氷や水にレモンをしぼつたり、パインアプルをこしたりした汁を加へて、順々にお造りになるのを少しづゝ召し上るのです。早速歸宅しましたら造つて見ますと大喜びで居られました。カンマン幹事が終られてから、當會寄宿舍委員松宮信子氏のお惣菜につきてのお話並に實習がありました。皆樣、お芋を切るやら、揚物を揚げるやら會場は忽ち變じて大きなお臺所と化しました。出來たのを召し上つては「まあ結構な」と云ふ御賞味の聲が彼方此方にきこえました。來會者五十有餘。

●クラブウオイク

かね〴〵始め度いと思つて居りました此働きも漸く何かと不充分ながら去る十八日から始めました。

課目は　英、國、體、花、茶、音樂、算術。

この七課目の中三課目以下兼習者は月謝五十錢、四課目以上は一圓、時間は各課目一週一時間になつて居ります、クラブ員は重に實務に付いて居る方です。今は十三人の方々が會社を退いてから(四時半)おいで下さいます。課目別にしますと。

課目、人員　國五、英十、花十、茶九、音三、算一

と云ふ割です。現在の方々は萬世橋分室からおいでになります、好果の上ります樣にお祈り下さい。

●夏期休養所

曾つて鵠沼に開いた事がありましたが今年は鎌倉でいたします。カフマン幹事の借りて居られます家を暫く拜借し其處で、これも矢張り重に實務に就いて居らるゝ方々の御便宜をはかつて差上げ度い望みですが實務に就いて居らるゝ方々のみと申上るのではございません故、出來るだけ多くの方の御出で下さる事をおまちして居ります。尚詳細は會の方に直

接御相談下さいますれば種々申上ます。一日二日或は一週間を波淸い岸邊に偉大な自然の懷にいだかれて神を讃えつゝ暮すは必ず益ある事と信じます。
七月五日から開きます。

地方の渡航者の方々へ

（三等船客訪問の一日）

幾百貫の荷物がゆら〱と高く又低く頭の上をゆきかひ乍ら岡から船へと積み込まれます其かまびすしい音に追ひ込められて船底へ〱と下りますと一種異様の臭氣とムーッとした暖たかい空氣の中に荷物と同居の様な船室に多くの三等婦人船客を見出しました、不體裁な姿をして横に成つて居るもの、足をのべて、大聲に談笑して居るもの、往訪の一人の西洋婦人に見らるゝさへ脊汗の思ひがいたします、短かい時間に此何も知らぬ田舍の粗朴な婦人にどうしても私共の望むで居る大きな望と此等の婦人が彼の地へ着いてからの將來を思ふ眞心を打ち込む事が出來樣かと或は尋ね或は答へ言葉を盡し力を込め、心得書を配布して「さらば御無事に行つて居らつしやいませ、必ず女子靑年會をたよりなさい」と言葉を殘して甲板の上に出た時にほろりと涙がこぼれました丁度母親が子供を外出させたり又お客樣にでも遣ります時にどうかして自分の子供が人から嫌はれぬ樣に美はしく見える樣にと出るから出る迄世話を燒き尙「飽き足らぬ思」を以て何時迄も〱後姿を見送り乍ら成功を祈ります折の樣に。

初夏の陽に照らされた舳に郡がつて居る多數の婦人は今日尙例の細帶のぐる〱卷に足袋も穿かぬ醜態を同船の一段高い甲板の上に立ち並ぶ外人から嘲笑と輕蔑の目を以て見られて居ります、其れを岸に立ちて見送る同胞の目には其等の人々が彼地へ上陸以後の有樣が彷彿として浮び出でずには居られません。

此同胞を思ひ日本を愛し引いては世界の平和な交情を暖むる爲めに夙に氣付いて生れ出でたのが横濱

女子青年會の移民部で御座います地方に居らるゝ「女子青年界」讀者諸姉よ若し渡航せらるゝ御友人を持たれ給ふならば是非横濱女子青年會の移民講習所で勉學せらるゝ様にお進め下さいませ、寄宿舍も御座いますから。（横濱女子青年會）

聖書講演會にのぞみて

米澤尚美

去る六月六日より十四日まで、ミスアダムスの御來神を願い聖書講演會を開催いたしました。ミスアダムスの御到着ときくや、早速、バイブルクラス主催の親睦會に御出を願い、一同親しく語り又、先生から多くの靈のかてを與へられた事を喜んで居ります。

午後五時、於神戸敎會　當地の牧師及び婦人會會長を招待し會食會を催しました。出席者五十名、一同ミス、アダムスから多大の感動を與へられ來るべき集會の盛ならんことを祈り、かつ希望にみたされて散會いたしました。

六月六日より十四日まで左のごときプログラムで聖書講演會をいたしました。

講師　ミス、シャーロット、アダムス
通譯者　河井道子女史
會場　ユニオン敎會

六月	午後二時		午後七時半	
六日(金)	大會	八十二名		
七日(土)			キリスト敎敎理	八十二名
八日(日)	傳道集會	五十五名		
九日(月)	幹事會		キリスト敎敎理	六十五名
十日(火)	キリストの敎訓	五十二名	聖書の敎方	六十三名
十一日(水)	同	三十二名	同	七十二名
十二日(木)	同(キリストの弟子)	十三名	同	八十三名
十三日(金)	同(新につきて)	十四名	同	四十二名
十四日(土)			大會	四十五名

この十日間を通じて多くの敎訓を受けられたことゝ思ひます。ポーロ書簡中最も喜びの文として書かれたのはピリピ書であります。

彼はたへずキリストの人格に接すべく努力したのであります。私はこのポーロの信仰の前に立つた時

にこれまでの信仰生活を深くかへり見て私共は第一にポウロの如き信仰生活に入つて居りませうか。もし然りとせば神との和合を得、信仰の榮を喜び苦痛をも喜びと化すことが出來ると思ひます。

ポーロのゝこせし言葉に從ひ福音をひろめるためには、すべてのよき事には喜んで助けなくてはなりません、すなはち女子青年會の働をとほして少しでも其を實行いたし度と思つて居ります。聖書講演會も皆樣の御祈と又、見えざる神の御備へのあつたゝめに盛會であつたことを感謝いたします。ミスアダムスは突然最後の日から病床の人となられましたが充分な御養生の結果今日は御元氣で京都の地におもむかれました。

十四日午後を利用いたし、藤田姉と共に鐘紡に參り親しく姉妹方に接する時を得ました。

大阪市外梅花女學校青年會

降りみ降らずみの今日此頃益々御淸盛を御悦び申上げます。我が女子青年會の會員は昨年に比して二倍方も增加し而して熱心なる方々のみで御座います先日委員を選擧致しました。選ばれた方達は夫々己が任務を重じて、盛に活働して居て下さいます。金曜日第一は聖書、第二は名士のお招、第三は仕事會第四は文藝會の日割として、つゝがなく實行を努めて居ります。斯樣にして神より與へられたる日を有益に過さると共に〳〵努めて居ますから御安心下さい。青年會雜誌は七人分を月々御送り下さい、代金は不日必ず御送附致す筈です。先は近況御知らせまで申述べます。

夏季講習會の樣々

○日本語教授法研究會　同會は松宮彌平氏指導のもとに八月四日より十五日迄信州輕井澤六四五にて開催、入會希望會は七月二十五日迄に履歷書を添へ左記に申込あるべし東京市牛込區市ヶ谷田町二ノ二十一松宮氏は外國人に日本語を教授するに就き多年の

經驗を有せられ毎年講習會を開き現在五十名の修了者を出し東京及地方に於て學校又は個人の敎授に紹介され何も成功の由（會費は金十圓にして開會初日迄に納入するものとす）。

○口腔衞生夏季講習會　ライオン齒磨會社主催なる同會は八月四日至八日東京市淺草區七軒町東京府立第一高等女學校に於て開催され東京市內有名なる齒科專門醫を講師として特に敎育の任に當る者の習得すべき兒童衞生の知識を普及せんがため小林富次郎氏が計畫になりたるものなり募集規定左の如し

一、講習生（學校職員中より推薦されし適當の出席聽講者）の定員は三百名とし、各學校の推薦する所のものより選拔す。

一、地方より出京する講習生に對しては出京に要する汽車汽船賃（三等往復）の半額を給す（但し講習會に缺席したる者は此限にあらず）。

一、講習生は講習會費を要せず。

右申込は東京市本所區外手町六番地ライオン講演會本部內小林富次郎氏へ。

○日曜學校講習會　第四回同會は例年の如く信州輕井澤に於て自七月二十二日至八月一日輕井澤メソヂスト敎會內にて開催さる、同會は協同ミッション日曜學校委員並日本日曜學校協會の主催にかゝるものにして毎年良成績を修めつゝある有望なる講習會なり宿泊料一日金一圓五十錢聽講料一圓申込は信州輕井澤二三四デヴィ氏方へ。

在米　實生すぎ子

此九月からミシガン州立大學校からスカラーシップを受ける光榮に預りましたのでそれに參る事にいたしました、ミルス大學は今年の五月で四ケ年の科程を卒業することになりました、只今は其前で多忙な感じが致して居ります、眞暗黑と思ふた私の前途がいつの間にか光がさして明るくなり、困難らしいものは皆消えて平坦に幸福にみえます、何ともたとへ樣のない感恩の念に滿ちて居ります、そして此開かれた道を心して敬虔の念をもつて一歩一歩ふみしめて步まふと考へて居ります、戰爭の終ると共に世界は根から植えかえられるかの樣な變化を各社界の方面に來して居ります、靜かな學校の窓から僅かに此激變の世界をながめて居るのがもどかしくて早く其活動の世界にとび出したく存じます。

落穗集

○**禁酒運動** 東京市麻布にある城南基督信徒團は貴族院が先頃根本正氏提出に係る未成年者禁酒法案に反對したるを以て其理由の要點を貴族院に質問する事に決し其贊成者を募集中なり。

○**結婚問題講演會** 婦人問題の指導者なる婦女新聞は本年七月を以て第一千號に達するにつき其記念とし六月十一日東京にて結婚問題講演會を開き知名の辯士を講師に盛會を催したり尚同社は一千號記念として結婚問題號を發行し諸名氏に左の意見を懸案を出す。

一、青年男女に配偶者を選擇せしむる意志を以て交際を許す(ﾛ)可否。

二、右を可とせば其實行方法如何。

三、不可とせば從來の媒酌制度そのまゝにて可なりとの御意見なりや。

○**帝大公開講義** 八月一日より東京帝大にて開催さるゝ講義には婦人も聽講を許す希望者は現住所年齡職業等を記し七月二十日までに大學に申込べき由(聽講料添)

○**安全週間** 六月十五日より一週間東京にて實施したる安全週間は市民に公德心を涵養させ、災害防止に良成績を收めたり、赤にて綠とられし青十字徽章は花の日會等の援助を得て四十萬個以上を賣上げたり。

○**勞働會と婦人** 七月中旬大阪市に於て婦人勞働に對する大會を催し神戸貧民窟殖民館主事賀川豐彦氏の夫人も登壇のよし。來る十月米國ワシントンに開るゝ國際勞働會議には日本よりも一名の代表婦人派遣あるとの風聞なり。

○**米國禁酒運動** 本年七月一日より北米合衆國全州は禁酒會を實行するなりと。

○**基督教修養會** 東京市ケ谷教會はツーントン氏を講師として六月十五日より十日間毎日二回集會を催し修養をはかる。

○**金森先生のハワイ行** 同胞傳道のため六月二十七日布哇に渡られ其後は米國にてシカゴ市ニユヨク市等に於ける同胞間に傳道さるゝ

豫定なり、先生は本年二月より東京、茨城、横濱に於て七十八回の集會をなし其聽衆は二萬八千四百五十四名にして其内決心者は一萬〇三百二十三名なりと、御出立の間際に當り令孃の一名病氣に罹られたるを以て富士見町教會にては先生の送別會教持に病人のため祈禱會をなせり。

○地久節祝賀祈禱會　東京婦人教役者會主催にて六月二十五日午後二時より京橋教會にて開會し河井道子氏の「使命に向ひて」の奬勵其他感話祈禱等ありたり。

消息

○ミスマシユウ　女子青年會本部幹事として長年獻身的に働かれし同氏はシベリヤの急務に際し止むを得ず今回本會を辭任せられたり(本文參照)。

○ミスガンター　契約期限滿期にて七月十六日歸米の途につかる。

○河井道子氏　ミスアダムの通譯と青年會の用務とを兼ね六月六日より十三日迄神戶に出張せらるゝ尙又武州川越傳道の爲二十八日二十九日同地に赴かる。

○新歸朝者　女子青年會事業研究の爲三年間留學されし坂本花代、横濱つぎ、大谷ひさの三氏は七月十七日春洋丸にて横濱上陸の豫定なり。

○藤田とき子氏　神戶女子青年會創立以來より幹事とし指導者として人望多き同氏は八月米國ミネソーダカータン大學に留學さるゝ事となり辭職せられたり。青年會に取りては多大の損失なりと雖も同氏のため慶賀すべき事なり。

○吉良うめ子氏　神戶女子青年會創立以來事務と會計とを兼ね活動されし同氏は健康上止を得ず今回辭職せられたり。

○ミスタヒング　父君御病氣の爲輕井澤にて看護に努めらる。

○ミスアダムス　四月御上陸以來東京横濱關西にて諸集會を開き甚だしく疲勞されしが幸にも回復を得て二十三日上海に向け出帆されたり。多分秋頃には再び日本に歸らるべし。

○山本琴子氏　大阪女子青年會幹事なる同氏は御病氣のため大阪府下濱寺石神氏邸内にて御保養中なり御全快の早きことを祈る。

○三谷民子氏　女子學院學監の同氏は婦人大會の爲六月上旬北海道旭川に出張されその途次札幌函館等に於て講演會を開き御成功たりしと喜ぶ。

○松宮信子氏　東京女子青年會家庭會のため夏の總菜の講義及實地を示されたり。來會者五十餘名。

○鈴木トミヱ氏　同氏の令妹大塚轍氏は渡邊百合子氏の令妹都賀孃と新渡戶博士御邸宅にて植村牧師司式のもとに六月十六日結婚せられたり。

○外國幹事ミスペーカー　ミスザエレーは函館大沼にミスカフマン、ミスタロフォードは札幌に其他は輕井澤に避暑せらるべし。

○ミスオルチン　横濱女子青年會音樂教師たる同氏は男子青年會の申込により七八月をシベリヤに送り該地の萬國兵士の爲獨唱を以て慰問に當る事となれり。

○川戶環氏　同氏の夫君洲三氏は六月十五日永眠され十七日富士見町教會にて葬儀ありたり。

○田中正氏(舊佐藤)　二十一日朝鮮より歸國さる。

○渡邊常子氏　矯風會神戶支部長なる同氏は一年餘も御在米なりしが六月上旬歸朝せらるゝ。

○小橋三四子氏　婦人週報主筆なる同氏は近き中に渡米され深く新聞雜誌機關等を研究せらるゝ目的なりと。

○保井この子氏　京女子高等師範助教授にして數年以前米國にて博物學を研究されたる女史は目下博士論文執筆中なりと。

○ミスマクドナルド　加奈陀なる御兩親御見舞のため八月御歸國になり本年末には再渡せらるべし。

佐世保　日曜學校生徒一同

先生最早名にし負ふ櫻の花も散りはてゝしまひました、先生には其後お健かに神樣の御ために御働きの事と存じます、私共一同も神樣の御惠の許に無事で居ります、先達は御手紙有難う御座いました又御親切にシベリヤの御金や切手を御送り下さいましてほんとに有難く拜見致しました、私等も先生の御愛によりまして遠くシベリヤの御金や切手を見る事の出來ました事を誠に有難く感謝いたします先達の嬉しい復活日には私共のクリスマスからの献金を二部に分けまして一部を大阪の博愛社へ一部を臺灣傳道の爲に送りました、又私共の食料となります、物を少しづゝ持つて日曜學校に行きましてそれを一緒に集めて籠に入れてついよの御氣の毒なお方に私共一同持つて行きまして讃美歌を歌つて歸りました、私共いと小さい者で御座いますが、神樣のために少しづゝでも盡し申す事の出來ました事はほんとに／＼嬉しくて／＼私共の心如何許りで御座いましたでせうか、筆にも口にも盡し難い程で御座いました、先生よい春の時候とは申し乍ら御身お健かに神樣の御ために御盡し遊ばします樣御祈り致します、先は御禮までさようなら。

小高つや子

四日間のミスアダムスの御講演を拜聽させて頂きまして何と御禮申上てよいか分りません受洗後何年たちましても教養される機會の割合に少い境遇にある私は低い／＼調子のまゝの信仰生活を致して居りましたそれが四月以來時間に餘裕がある樣な生活に入りそして今度の特別な教養なうける事が出來て本當に調子の高められました事を深く喜び厚く御禮申上ます限りなく深きこの敎が教養される事が足りない爲に如何に淺くせまく自分の生活に取り入れて居つたかまたその低い調子のまゝを人に與へて居つたかを思ひましてもつともつとより高きものとならねば濟まない事を感じました每／＼どんなに心躍り乍ら御講演を伺ひました事でせう全く心奪はれてその夜は唯そのお話を繰り返し／＼味ふ事に過して居りましたあやふやな信仰の步が何となく確乎と步みしめられる自信を得ましたもや／＼とあつた頭の中の不確定な事々が一つ／＼確定されて行く嬉しさは何と表はしてよいか分りません自分が信者であると云ふ自信を持つとゝもに其責任を判然と悟る事が出來まして黃昏の光から眞晝のまばゆい樣に判然とした世界に連れ出して頂いた氣が致します、僅かしか水の入つてゐない水瓶から無理に汲み出さなければならぬ樣な苦しさをよく靈的生活に於て經驗し充たされて自分からあふれ出る樣にありたいと願ひ／＼して居りました時その鍋を充たして頂いた嬉

しさ今日迄の四日間はあの一時間以上の御講演をのみ思つて日を迎へて居りましたあの時だけ時計が止つてしまつて太陽が暫く歩かずに居てくれゝばよいと思ふ程ある時間の經つのを惜しみました本當に斯く迄充して下さつた賜に對しては心の限りに御禮申上て嬉しき感謝の一端を表はす外御座いません。

浦鹽　石戸義一

暑さ日増に加はり候處御一同様別に御變りも不被有候哉當方一同無事消光罷在候間乍憚御安心被下度候小生五月中旬當地セメノフスカヤ街十九番地に移轉致候二階が五間下が五間十間許り室が有之候二階の三間許りを教會用と致し五月十八日獻堂式を擧げ候菊池領事も臨席に相成中々盛會にて有之候御始め被下たる婦人會も日増盛大に赴き居候書面一通御回送申上候(大正八年六月四日)。

川越　兒島信

私も何處へ參りましてもほんとに神の御惠のもとに立派な信者と交る様になりますのが今更の如く感謝にたへません殊に此度の様に敬虔な家庭に入りますと何もかも感謝の種でございますせめて之等の人々の中に入つて何か小さな役にでも立ち得たならば云ふに勝る喜ばないと思つてゐます女子青年會も追々に多くの教會の方々にも御紹介したいと思ひます。

在米　大谷ひさ

私共は六月二十七日出帆の春洋丸と相定め申候皆様には定めし修養會の爲に御忙しく被渡るべく候間決して出迎等は心配遊ばさゞる様御願ひ申上候何か修養會の事にても御手傳出來候事有之候はゞ御仰つけ被下度願上候定めし横濱様か阪本様より最早御報被遊候事と存じ候が私共學校の濟み次第加州アシルモアの修養會に招かれて參り一週間程を同處にて會　列し桑港に二十五日頃參り二十七日出帆といふ事に定め申候中々忙しき旅行を致す事にて候にんもそれ丈早く歸國致され候は嬉しく候。

「女子青年界」定價及廣告料

定價郵稅	内地	海外
一部	金十錢	金拾三錢
一年前金	金壹圓	金壹圓四拾錢

廣告料	一回掲載
一行	金五拾錢
四分一頁	金五圓
半頁	金九圓
全頁	金拾五圓

年極又は回數により割引有

大正七年六月廿八日印刷納本
大正八年七月一日發行

發行所　神田區北神保町十四番地　日本基督教女子青年會　電話本局五九八番　振替東京二三七二三番
發行兼編輯人　神田區北神保町十四番地　河井道子
印刷人　芝區西和泉町七番地　前川吉次郎
印刷所　同所　三成舍

Thursday, July 24
6 A.M. "Sunrise Prayer Meeting
8 A.M. Morning Service and Bible Study as above.
9 A.M. Consultation Hour
1. Students Associations
2. City Asscciations
10:30 A.M. Zealous Sincerity of Early Buddhists in Japan" — Rev. Tajima
7 P.M. "Education of Women" — Miss Yasui
"Urgent Need of Evangelistic work in Tokyo — Mr. Watanabe

Friday, July 25
6 A.M. Sunrise Prayer Meeting
8 A.M. Morning Service and Bible Study as above.
9 A.M. Report of Five City Associations — 5 Secretaries
10.30 A.M. "Meaning of Life and Happiness" — Prof. Ishiwara
"Purity" (for Younger Girls) — Mrs. Ibuka
7 P.M. "Health"
"W.C.T.U. Work" — Mrs. Kubushiro

Saturday, July 26
6 A.M. Sunrise Prayer Meeting
8 A.M. Morning Service and Bible Study as above.
9 A.M. "Y.W.C.A. in America" — Miss Scott
10:30 A.M "Thoughts for Japanese Woman from Activities of American and European Women" — Mr. Masutomi
Afternoon Y.W.C.A. Day

Sunday, July 27
10 A.M. Morning Service
"New Ideas for Co-operation of Humanity" — Rev. Kuranaga
7 P.M. Song Service
"Impressions from Abroad" — Miss Sakamoto, Miss Yokozawa, Miss Onomi

Monday, July 28
6 A.M. Sunrise Prayer Meeting
8 A.M. Morning Service and Bible Study as above
9 A.M. "Y.W.C.A. Headquarters and Its Plan for the Future" — Committee and Secretaries
10.30 A.M. "Lord's Prayer" — Rev. Uemura
"Daily Living" (for Younger Girls) — Miss Hasegawa
7 P.M. "Present Condition of Missions at Home and Abroad" "Sunday School" — Mr. Nobeji

Tuesday, July 29
6 A.M. Sunrise Prayer Meeting
8 A.M. Morning Service and Bible Study as above
9 A.M. General Consultation
10:30 A.M. "Future Improvement of Christians" — Rev. Imai
7 P.M. "Our Own Ground" — Miss Kawai

GENERAL INFORMATION.

Registration fee: For entire conference Yen 1.00 or twenty sen per day.
For the entire conference Yen 7.00 or .90 per day.
.70 for one night and two meals.

Do not bring heavy baggage. Hand baggage may be sent to the school by "Shinai" delivery. Mark all baggage with your name.

Bring pillow case, sheets, and house shoes. If convenient, blanket and pillow. Bring tennis racket and kodak if you have them.

Applications should reach the National Office Y.W.C.A. 14 Kita Jimbocho, Kanda, before Thursday, July 10th.

411

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN
(JOSHI SEINEN KAI)

Vol. XVII | July 1919 | Number 7.

SUMMER CONFERENCE
YOUNG WOMEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION
(Fourreenth Summer 1919)

At Toyo Eiwa Jo Gakko, Toriizaka Azabu Tokyo; from the evening of 22 to the morning of July 30.

Motto: I. Corinthians 12: 26—27, "And whether one member suffer, all the members suffer with it; or one member be honoured, all the members rejoice with it. Now ye are the the body of Christ, and members in particular."

Leader: Miss Tami Mitani.

Speakers and Bible Teachers: Prof. J. Imai, Prof. K. Ishiwara, Rev. D. Hatano, Mr. T. Watanabe, Rev. S. Tajima, Rev. S. Uemura, Rev. Kuranaga, Mr. M. Masutomi, Rev. Y. Sasakura, Mr. S. Nobeji, Miss T. Yasui, Miss K. Yamada, Mrs. O. Kubushiro, Miss T. Nishino, Miss Chika Nakaji, Miss M. Morita, Miss H. Asai, Miss H. Sakamoto, Miss T. Yokozawa, Miss H. Onomi.

PROGRAM.

Tuesday, July, 22	7: P.M.	Opening Meeting	
		Opening Address	Miss Mitani
		Welcome Speech	Mrs. Ibuka, Miss Kobayashi
		Report	Miss Hori
Wednesday, July 23	6 A.M.	Sunrise Prayer Meeting	
	8 A.M.	Morning Service	Miss Mitani
	8: 15 A.M.	Bible Study	
		1. Younger Girls' Class	Miss Yamada
		2. "	Miss Asai
		3. Inquirers' Class	Miss Nakaji
		4. James	Miss Nishino
		5. Life of Christ	Rev. Hatano
		6. Jeremiah	Miss Morita
		7. Prophets Religion and Christianity	Prof. Ishiwara
	9 A.M.	Committe Meeting	
		1. Students' Associatins	
		2. City Associations.	
	10: 30 A.M.	"Taiyo no Ben"	Rev. Sasakura
		Afternoon Welcome Social Meeting	
	7 P.M.	"Ideal"	Miss Nishino
		"Reading"	Miss Mitani